

# ミクロ経済学B 復習用

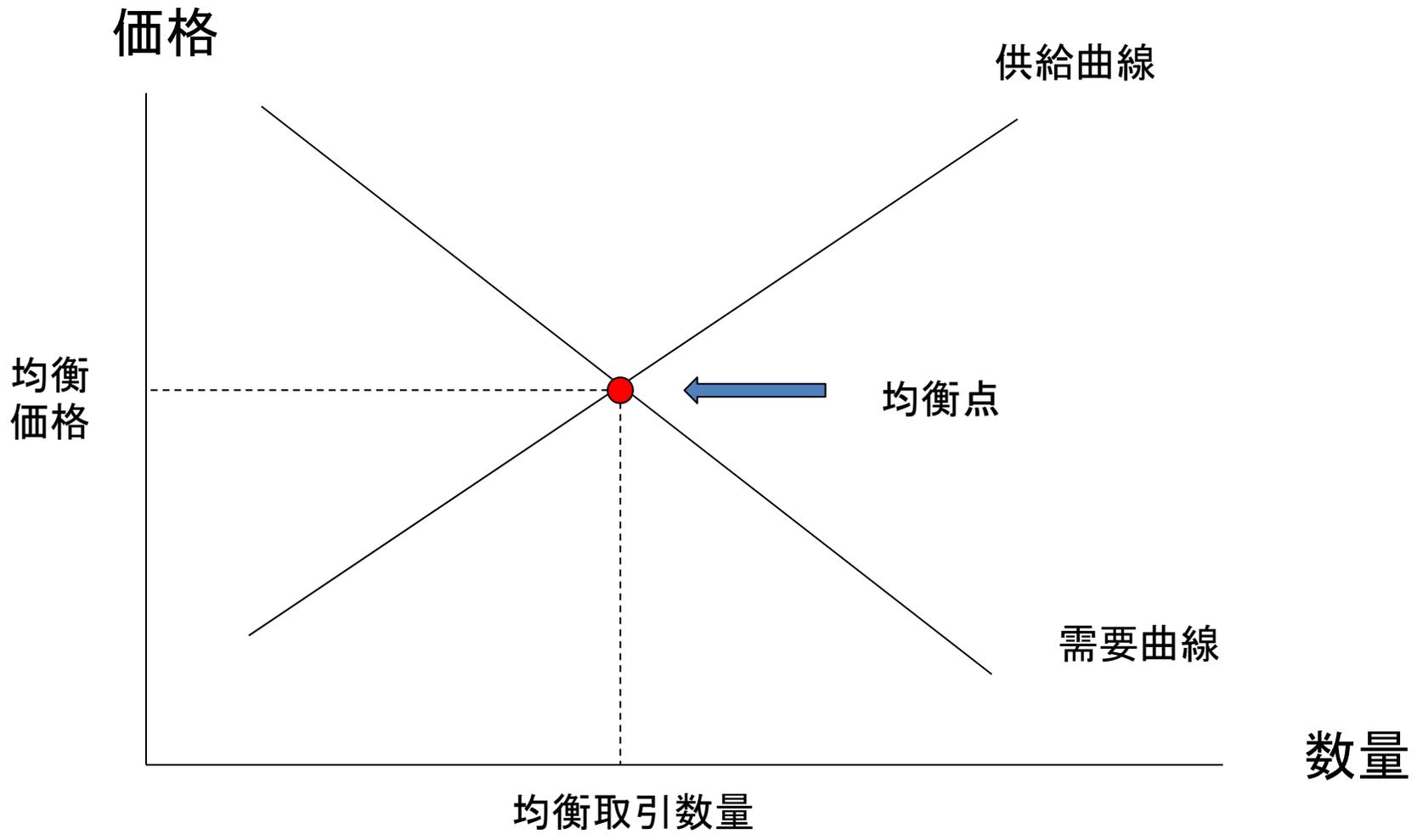
1～3回

2019年10月29日

# 市場への政策的な介入

- 生産物の市場や労働市場に政策的に介入することがある。
- 完全競争の場合は、このような介入はない。
- その場合は、価格が上下して、市場全体の需要＝市場全体の供給となる。
- 小テスト問題：完全競争状態では、〇〇が上下して、 $\times \times = \Delta \Delta$ となる。ここに漢字を入れよ。

完全競争が成立すれば、市場は速やかに均衡点に達する。



# 労働市場の均衡

- 労働市場は、労働者のサービスを企業が買う市場である。
- 労働市場にも、需要と供給がある。
- 労働力の買い手は企業、売り手は家計
- 価格は実質賃金（名目賃金を物価で割ったもの）

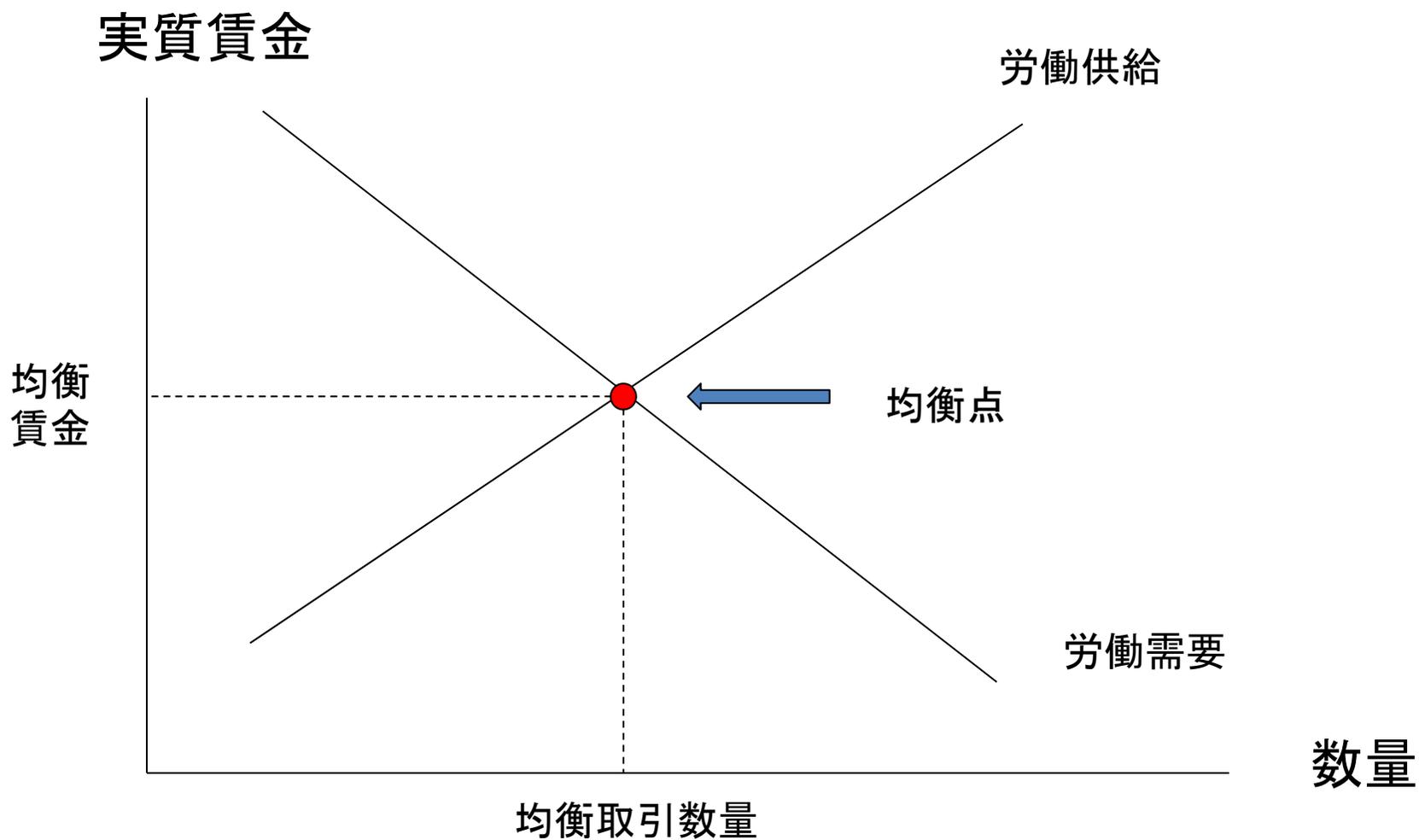
# 労働市場：労働需要

- 労働需要は、労働者の労働を1単位追加的に使うことによって得られる生産物の価値で決まる。
- 労働需要曲線は、実質賃金が高いほど、需要が小さくなるので、右下がりである。
- 企業の収穫逓減に基づく
- 小テスト：数値例を示し、それで労働需要を求める（例を黒板に書く）

# 労働供給

- 労働者は、実質賃金（1時間働けば、どのぐらいモノ・サービスを買うことができるかという値）が高いほど、多く働く（労働供給が増える）
- ただし、あまり高い水準の実質賃金であった場合は、労働供給は逆に減るような現象がある。

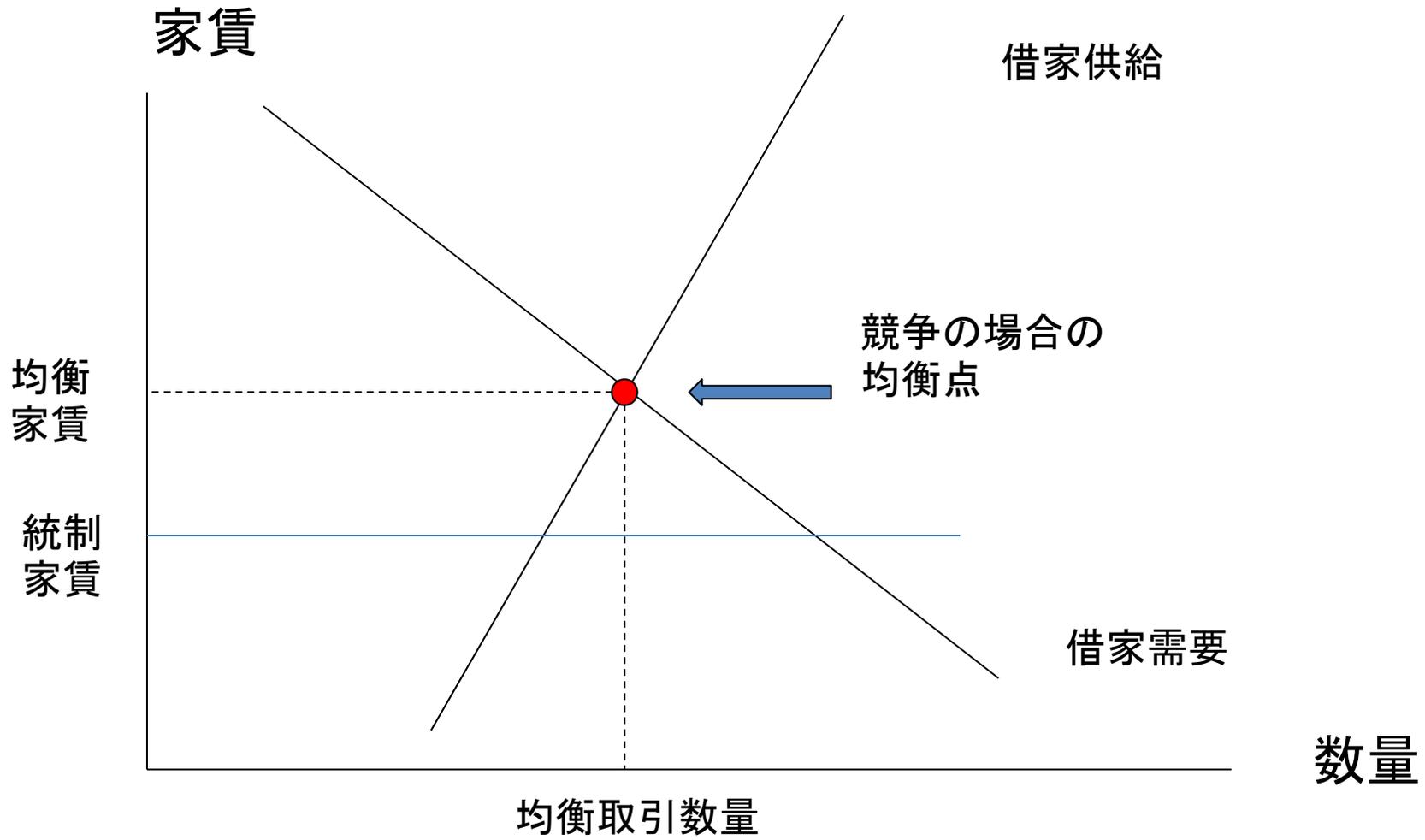
労働市場でも、競争的な場合がある(コンビニアルバイトなど)。



# 市場介入1: 統制価格(上限を規制する)

- 生産物の市場における規制(現在の日本では、ほぼ無い)
- むかし存在したのが、借家の家賃の統制
- かわいそうな借家人が高い家賃を払わなくともよいように、規制をかける

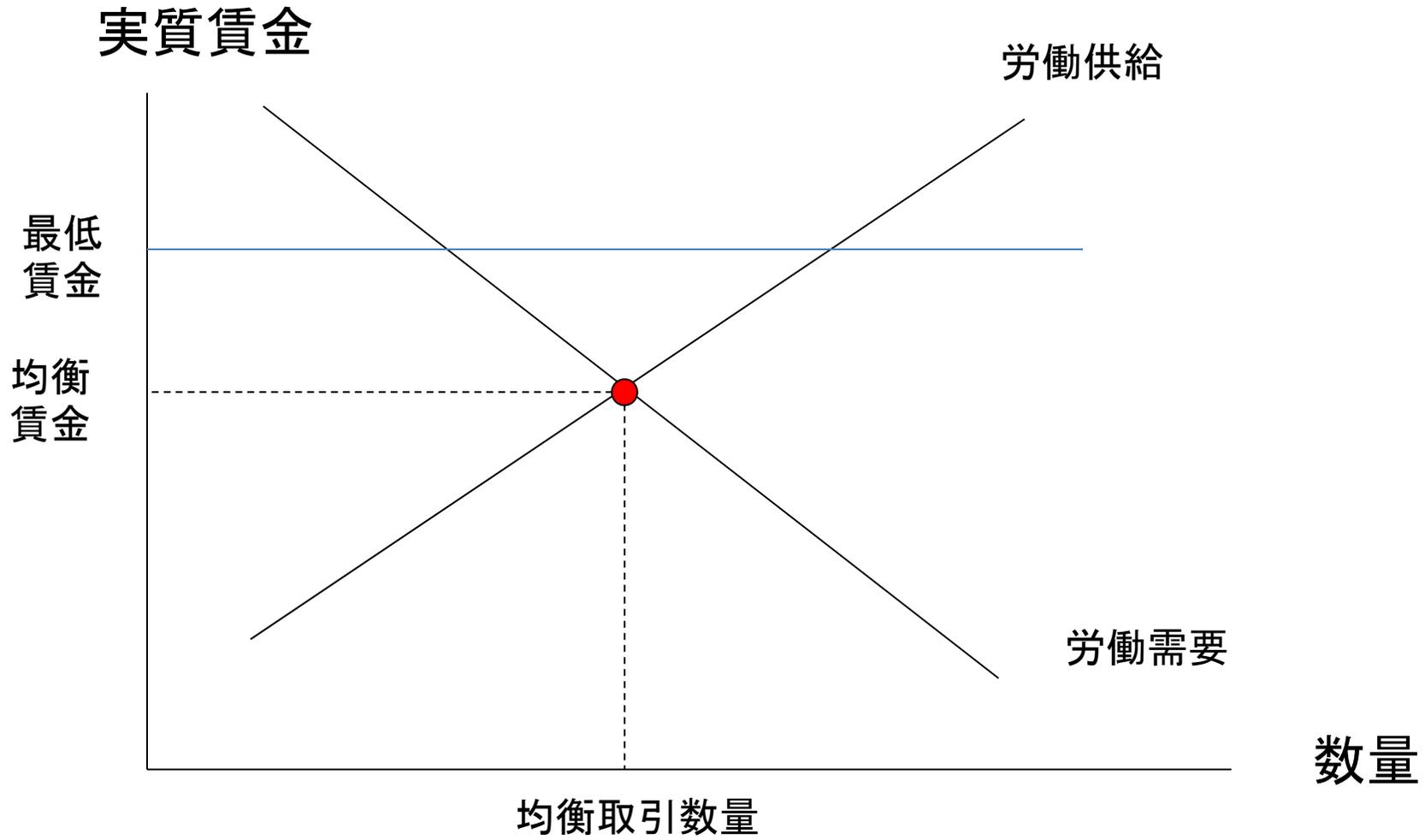
# 家賃統制の結果



# 統制価格の結果

- 借家の超過需要が発生（借りたい人が借りられなくなる）
- 優良な借家人を、大家が選ぶ（優良な人にしか、貸さない）
- 借家の供給不足（建て替えをしない、新規に借家を立てない）
- これらの結果、貧困な借家人が、多く借家から締め出される可能性がある
- 小テスト問題：家賃統制をおこなうと、どのような結果となると予想されるか。

# 労働市場における最低賃金



# 最低賃金の結果

- 労働の超過供給が発生（働きたい人の働き口がない）
- 優良な労働者を、企業が選ぶ（優良な人しか、雇わない）
- 長期的に、労働節約的な設備投資（省力化のための機械導入）により、労働需要が減る
- これらの結果、単純労働を行う労働者が、多く失業する可能性がある
- 小テスト問題：無理な最低賃金の導入をおこなうと、どのような結果となると予想されるか。